

2023年度

科目名称	理学療法評価学
授業コード	AD223
英語名称	Physical therapy evaluation
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	安齋 久美子 (医療科学部), 新永 拓也 (医療科学部), 渡邊 修司 (医療科学部), 田中 和哉 (医療科学部), 相原 正博 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	【目的】社会的基礎能力の養成を行う。 理学療法評価の意義を理解し、特定の疾患に限らず広範に用いられる理学療法評価の基本的知識、技術を学ぶ。また、理学療法士が行う検査測定結果から目標設定、理学療法プログラム立案につながる臨床推論の基本的な流れを学ぶ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	総合病院、回復期病院、整形外科病院での臨床経験のある担当教員が教授する。
到達目標	【科目特有の知識・技術についての到達目標】 1.理学療法における評価の意義・目的を説明できる。理学療法評価の対象に合わせた評価計画の立案ができる。各種画像、検査結果から実施上の留意点が説明できる。評価結果の記録ができ、それらを統合・解釈する方法を説明できる。 【汎用能力としての学士力についての到達目標】 2.カリキュラムポリシーに挙げる「医療・福祉・保険領域のスペシャリストとなる臨床的実践力の育成の場として、問題解決能力、表現能力、コミュニケーション能力などのキャリアを形成する目的で」理学療法評価の基本的知識を身につける。
計画・内容	1) オリエンテーション・理学療法評価の意義と目的、形態測定 担当教員：安齋久美子（理学療法士） 予習：教科書や参考書の該当箇所を調べて読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書や配布資料と関連付けて、自分の講義ノートを整理事ること(2時間) 2) 関節可動域測定 担当教員：安齋久美子（理学療法士） 予習：教科書や参考書の該当箇所を調べて読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書や配布資料と関連付けて、自分の講義ノートを整理事ること(2時間) 3) 知覚検査・痛みの評価 担当教員：安齋久美子（理学療法士） 予習：教科書や参考書の該当箇所を調べて読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書や配布資料と関連付けて、自分の講義ノートを整理事ること(2時間) 4) 筋力測定（徒手筋力検査法） 担当教員：安齋久美子（理学療法士） 予習：教科書や参考書の該当箇所を調べて読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書や配布資料と関連付けて、自分の講義ノートを整理事ること(2時間) 5) 意識障害尺度・評価の記録（SOAP） 担当教員：安齋久美子（理学療法士）

計画・内容	<p>予習：教科書や参考書の該当箇所を調べて読み、不明な点をまとめておくこと(1時間)</p> <p>復習：教科書や配布資料と関連付けて、自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>6) 医療面接・情報収集 担当教員：安齋久美子（理学療法士） 予習：教科書や参考書の該当箇所を調べて読み、不明な点をまとめておくこと(1時間)</p> <p>復習：教科書や配布資料と関連付けて、自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>7) 超音波エコー画像 担当教員：渡邊修司（理学療法士） 予習：教科書や参考書の該当箇所を調べて読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書や配布資料と関連付けて、自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>8) 動作解析画像 担当教員：田中和哉（理学療法士） 予習：教科書や参考書の該当箇所を調べて読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書や配布資料と関連付けて、自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>9) 心電図波形 担当教員：新永拓也（理学療法士） 予習：教科書や参考書の該当箇所を調べて読み、不明な点をまとめておくこと(1時間)</p> <p>復習：教科書や配布資料と関連付けて、自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>10) 筋電図波形 担当教員：相原正博（理学療法士） 予習：教科書や参考書の該当箇所を調べて読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書や配布資料と関連付けて、自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>11) 理学療法評価（ICF） 担当教員：安齋久美子（理学療法士） 予習：教科書や参考書の該当箇所を調べて読み、不明な点をまとめておくこと(1時間)</p> <p>復習：教科書や配布資料と関連付けて、自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>12) 理学療法ガイドライン 担当教員：安齋久美子（理学療法士） 予習：教科書や参考書の該当箇所を調べて読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書や配布資料と関連付けて、自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>13) 理学療法評価の計画（１） 担当教員：安齋久美子（理学療法士） 予習：教科書や参考書の該当箇所を調べて読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書や配布資料と関連付けて、自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>14) 理学療法評価の計画（２） 担当教員：安齋久美子（理学療法士） 予習：教科書や参考書の該当箇所を調べて読み、不明な点をまとめておくこと(1時間)</p> <p>復習：教科書や配布資料と関連付けて、自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>15) 検査測定結果の統合と解釈 担当教員：安齋久美子（理学療法士） 予習：教科書や参考書の該当箇所を調べて読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書や配布資料と関連付けて、自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p>
授業の進め方	教科書や配布資料をもとにパワーポイントを使用した授業形式で進行する。内容によっては、講義の中でワークシートの作成やグループディスカッションなどを行う。
能動的な学びの実施	毎回確認テストとその解説を行い、授業回ごとに理解度の振り返りを行う。アクティブラーニングを取り入れ、演習を適宜行う。グループ分けを行い、課題についてディスカッションを行い、解決案を導いていく。

2023年度

授業時間外の学修	予習：教科書・参考書を用いて該当箇所をノートにまとめる(1時間) 復習：授業内に学習した内容を予習ノートに上書きし、重要な個所を整理する(2時間)
教科書・参考書	「理学療法評価学 改訂第6版補訂版」松澤 正、江口勝彦著 金原出版株式会社
成績評価方法と基準	定期試験(80%) + 課題レポート (20%)
課題等に対するフィードバック	小テストの答案を返却して、授業内で解説を行う。
オフィスアワー	Campus Squareを参照
留意事項	この科目で修得する内容は、理学療法評価学実習、 で学ぶ検査測定の前提となる基本的知識である。3つの科目の繋がりを意識して学修すること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 ズームを用いたリアルタイムの遠隔授業を行う。資料は事前にキャンパススクエアから入手のうえ、講義に出席すること。 成績評価方法と基準 定期試験(80%) + 課題レポート (20%)